

ウイメンズサポートルーム事業との協働

協働の相手(名称)	NPO法人ウイメンズサポートネットワーク		
事業年度	平成20年度		
県の担当部署	母子保健福祉課	直通電話0952-25-7056	
県の予算額	なし	協働の形態	事業協力

目指す姿

行政とCSO(市民社会組織)が共通の目的のためにそれぞれの特徴を活かして協力しあうことによって、女性や若者からの相談により効果的に対応し、悩みの軽減につなげる。

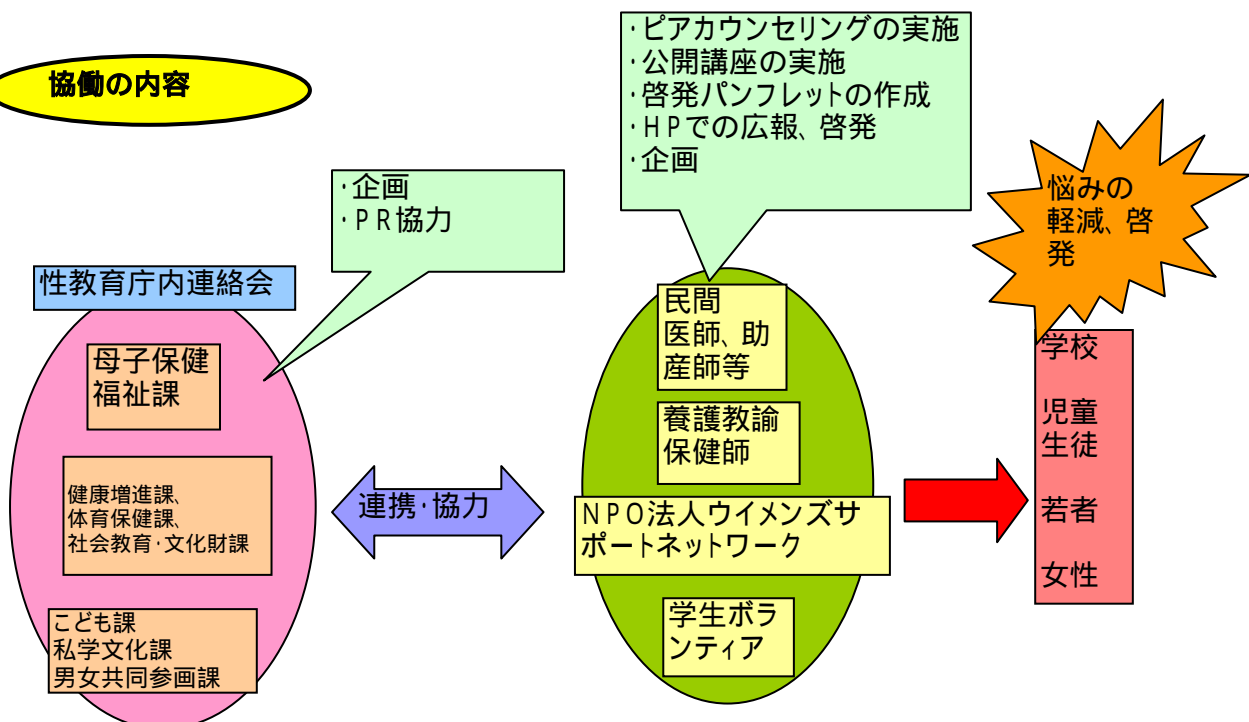
事業概要

女性、若者を対象として、ピアカウンセラーによる性の悩みや学校の悩みへの対応、メール相談、産婦人科女性医師等による若者や女性特有の健康相談、公開講座を実施。高校卒業予定の女子生徒、産婦人科医療機関等へオリジナルの性教育の啓発パンフレットの作成、配布。

協働の背景

専門性とネットワークが要求される事業であり、行政だけではカバーできない部分もあるため、NPO法人との協働で事業を発足した。16, 17, 18年度は委託事業として実施し、19年度からは、CSO主体の事業となった。県は、啓発、PR等を継続実施。

協働の内容



ピアカウンセリング・・・同世代の人達による相談・指導・助言

協働の成果

CSOの活動に、多くの民間、行政関係者、学生が集い、ボランティア(自発的)に活動に取り組む人が多くなった。

学校や地域でそれぞれに活動していた医師、助産師、保健師、養護教諭のネットワークができて情報交換が進み、医師、助産師等それぞれに連携がされるようになり、業務に好影響を与えるようになった。

今年度、県庁のホームページに性教育のコーナーを設置した際には、CSOから資料の提供を得た。

また、事業全体について共に企画を練り上げ、広報、啓発を行ったことで、相談者の悩みにより効果的に対応ができた。

県民のメリット

学校主体の事業では、指導要綱に縛られてニーズに対応できにくい(例えば、避妊具の使用法を具体的に伝えられないなど)場合等に、必要な内容をCSOが作成するパンフレットや教材に盛り込むことでより具体的な知識が得られ、啓発が進んだ。

今後の展望

・新たにCSO(県医師会)が同じテーマの活動を開始された。さらに協働して正しい性知識の普及と、より効果的な啓発を図っていきたい。